

<発表資料>

2021年12月6日21114

30th
Anniv.
LISSAGE

先進のコラーゲン研究^{※1}を応用 「LISSAGE(リサーチ)」の主力商品スキンメンテナイザーを刷新 一人ひとりの美を追い求めた、リサーチ唯一無二の化粧液誕生

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、カネボウ化粧品のカウンセリングブランド「LISSAGE(リサーチ)」の主力商品である化粧液「スキンメンテナイザー」を刷新し、2022年2月19日に『リサーチ スキンメンテナイザー ST』、『リサーチ スキンメンテナイザー EX』を発売します(12品目36品種・800~6,300円<税込880~6,930円>)。

併せて、同年1月12日にLINE公式アカウントを開設します。独自開発のハリAI解析を活用した新デジタル肌測定ツール「HARI-TECH(ハリテック)」^{※2}を搭載。店頭でのカウンセリングとともに情報提供や美容アドバイスをこなうことで、お客さま一人ひとりの肌に寄り添います。

同年8月にはリサーチ内最高級となるDXラインも発売し、肌の「ハリ状態」^{※3}と「肌タイプ」に合わせてラインアップを拡充していく予定です。

2022年に誕生30周年を迎える「リサーチ」は、花王グループが化粧品事業において国内を中心に注力するブランド「R8」のひとつです。リサーチの長年のコラーゲン研究^{※1}の集大成と言える新商品を発売することで、国内カウンセリングスキンケアのさらなる強化を図ります。

※1 肌をうるおすコラーゲンの研究 ※2 花王独自開発のハリAI解析技術とパーフェクト(株)の技術による ※3 ハリが気になる状態のレベル



1. 発売の背景

「リサーチ」は、1992年に誕生したカネボウ化粧品の国内主力カウンセリングブランドで、2022年に30周年を迎えます。誕生以来、一貫したコラーゲン研究^{※1}のもと、化粧水と乳液の充実感を1本に凝縮した化粧液「スキンメンテナイザー」を主力商品に、肌のうるおい・ハリ^{※4}・透明感ニーズに応えるブランドとして、シンプルながら効果的なスキンケアを望む、忙しい現代女性を応援してきました。

ブランド誕生30周年を機に、長年のコラーゲン研究^{※1}の集大成として、「スキンメンテナイザー」を刷新します。これまでの、肌タイプ・機能・感触で選べる商品設計に加え、新たに肌の「ハリ状態」^{※3}という視点を取り入れることで、より一人ひとりの肌に寄り添った提案を行なっていきます。

※4 うるおいによる

2. 商品特長

今回発売する「スキンメンテナイザー」は、化粧水と乳液の充実感を1本に凝縮した、ハリ肌を実現する化粧液です。肌の「ハリ状態」^{※3}と「肌タイプ」に合わせて選ぶことができます。『リサーチ スキンメンテナイザー ST』は「うるおうハリ肌」を、『リサーチ スキンメンテナイザー EX』は「濃密なハリ肌」を、2022年8月に発売予定の『リサーチ スキンメンテナイザー DX』は「豊潤なハリ肌」をめざした商品設計となっています。全品共通保湿成分として、「コラーゲンケア成分SP」^{※5}を配合したほか、それぞれの肌状態に

合わせた複合保湿成分を採用しました。さらに、ST、EXそれぞれに、皮脂量が多くベタつきがちな肌(0肌・OD肌)、水分量不足で乾きがちな肌(N肌・D肌)といった肌タイプ別と、うるおいによる透明感を求める方に向けたブライトニングタイプを揃えました。それぞれ異なる感触の12種のラインアップで、肌の「ハリ状態」※3と「肌タイプ」の双方から、お客さまの一人ひとりの肌に合った1品を選択できます。

発売月	ハリ状態	肌タイプ	
		オイリー～オイリードライ肌 ベタつきがちな肌に、すっきりうるおう使い心地	ノーマル～ドライ肌 乾きがちな肌に、しっとりうるおう使い心地
2022年8月	DX ハリがとても気になる	1 (みずみずしくまろやか) 	2 (しっとりまろやか) 
2022年2月	EX ハリが気になる	M1 (さっぱり) M2 (しっとり) W1 (さっぱり) ブライトニング化粧液 【医薬部外品】メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。	M3 (とてもしっとり) M4 (濃厚しっとり) W2 (しっとり) ブライトニング化粧液 【医薬部外品】メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。
	ST ハリを保ちたい	M1 (さっぱり) M2 (しっとり) W1 (さっぱり) ブライトニング化粧液 【医薬部外品】メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。	M3 (とてもしっとり) M4 (濃厚しっとり) W2 (しっとり) ブライトニング化粧液 【医薬部外品】メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。

また、今まで以上に使いやすさにこだわり、容器も進化させました。本体容器は、「リサージ」ならではのトリガー(引き金)部分の先端を細くすることで、より指をかけやすくしました。さらに、ボトル部分のホールド感をアップ。詰め替えがしやすい安定したデザインとなっています。一方、レフィル容器は環境配慮と使いやすさの両立をめざしたパウチ容器を採用。キャップは径を大きくすることで、握りやすく開けやすい形状に、パウチは詰め替え時に注ぎやすい形状になっています。さらに、ボトルにはバイオPET、パウチには再生PET、キャップ部分にはバイオポリエチレンといった環境配慮材料を使用しています。

※3 ハリが気になる状態のレベル
 ※5 化粧品は、保湿:加水分解コラーゲン、ユキノシタエキス、加水分解シルク
 医薬部外品は、保湿:加水分解コラーゲン液(4)、ユキノシタエキス、水解シルク液



3. コミュニケーション施策

「リサージ」は、店頭でのカウンセリングと併せて、LINEを活用することで、お客さまとのつながりをさらに強化してまいります。2022年1月12日より、「リサージ」のLINE公式アカウントを開設。メニュー内には、測定機能やダイアリー機能を備えた「美幹手帳」を設置します。測定機能「HARI-TECH(ハリテック)」※2は、独自開発のハリAI解析機能を備え、自撮り画像からハリ※4の状態を測定できます。これにより、既存の「リサージ デジタルカウンセリング(肌測定ツール)」でも提示していた「肌タイプ」・「潤い・油分」・「肌年齢」等と併せて、より高い精度でおすすめのお手入れを提案することが可能になります。また、ダイアリー機能「美幹ダイアリー」では、肌状態や天気などが記録でき、過去一定期間の測定結果をいつでも確認することができます。

※2 花王独自開発のハリAI解析技術とパーフェクト顔の技術による
 ※4 うるおいによる



画像はイメージです

4. 商品概要

※表示の価格はメーカー希望小売価格です。

商品名・品種・内容量・価格	商品特長
<p>リサーチ スキンメインテナイザー ST M1(さっぱり)・M2(しっとり)・ M3(とてもしっとり)・M4(濃厚しっとり)</p> <p>本体 180 ml・各 3,500 円〈税込 3,850 円〉 レフィル 180ml・各 3,200 円〈税込 3,520 円〉 トライアルサイズ 42ml・各 800 円〈税込 880 円〉</p>	<p>化粧水と乳液の充実感を 1 本にした化粧液。 エイジングケア^{※6} で、ハリとうるおいに満ちた印象に導きます。</p> <p>M1 清涼感のあるさっぱり感触。 M2 なめらかに広がるしっとり感触。 M3 まろやかなとろみのしっとり感触。 M4 濃密なとろみのしっとり感触。</p> <p>◇コラーゲンケア成分SP配合^{※5}◇STコンプレックス配合^{※7} ◇無香料</p>
<p>リサーチ スキンメインテナイザー ST W1(さっぱり)・W2(しっとり) (医薬部外品)</p> <p>本体 180 ml・各 4,000 円〈税込 4,400 円〉 レフィル 180ml・各 3,700 円〈税込 4,070 円〉 トライアルサイズ 42ml・各 900 円〈税込 990 円〉</p> <p>----- 販売名：リサーチ スキンメインテナイザー ST W1 リサーチ スキンメインテナイザー ST W2</p>	<p>化粧水と乳液の充実感を 1 本にした薬用化粧液。 エイジングケア^{※6} で、ハリとうるおいに満ちた明るい印象に導きます。</p> <p>●乾燥によってくすんで見える肌にうるおいを与えるブライトニング発想で、肌全体がうるおって透明感のある明るい肌へ。</p> <p>W1 清涼感のあるさっぱり感触。 W2 ひとひたと広がるしっとり感触。</p> <p>◇コラーゲンケア成分SP配合^{※5} ◇STコンプレックス配合^{※8} ◇無香料 ◇有効成分 L-アスコルビン酸 2-グルコシド配合。 メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。</p>
<p>リサーチ スキンメインテナイザー EX M1(さっぱり)・M2(しっとり)・ M3(とてもしっとり)・M4(濃厚しっとり)</p> <p>本体 180 ml・各 5,800 円〈税込 6,380 円〉 レフィル 180ml・各 5,500 円〈税込 6,050 円〉 トライアルサイズ 42ml・各 1,300 円〈税込 1,430 円〉</p>	<p>化粧水と乳液の充実感を 1 本にした化粧液。 エイジングケア^{※6} で、濃密なハリとうるおいに満ちた印象に導きます。</p> <p>M1 コクとみずみずしさを兼ね備えたさっぱり感触。 M2 ベタつかずまろやかなしっとり感触。 M3 コクとみずみずしさを兼ね備えたしっとり感触。 M4 濃密なコクのあるしっとり感触。</p> <p>◇コラーゲンケア成分SP配合^{※5} ◇EXコンプレックス配合^{※9} ◇天然精油配合のリラックス感のある香り</p>
<p>リサーチ スキンメインテナイザー EX W1(さっぱり)・W2(しっとり) (医薬部外品)</p> <p>本体 180 ml・各 6,300 円〈税込 6,930 円〉 レフィル 180ml・各 6,000 円〈税込 6,600 円〉 トライアルサイズ 42ml・各 1,400 円〈税込 1,540 円〉</p> <p>----- 販売名：リサーチ スキンメインテナイザー EX W1 リサーチ スキンメインテナイザー EX W2</p>	<p>化粧水と乳液の充実感を 1 本にした薬用化粧液。 エイジングケア^{※6} で、ハリとうるおいに満ちた明るい印象に導きます。</p> <p>●乾燥によってくすんで見える肌にうるおいを与えるブライトニング発想で、肌全体がうるおって透明感のある明るい肌へ。</p> <p>W1 コクとみずみずしさを兼ね備えたさっぱり感触。 W2 濃密なコクのあるしっとり感触。</p> <p>◇コラーゲンケア成分SP配合^{※5} ◇EXコンプレックス配合^{※10} ◇天然精油配合のリラックス感のある香り ◇有効成分 L-アスコルビン酸 2-グルコシド配合。 メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。</p>

※5 化粧品は、保湿：加水分解コラーゲン、ユキノシタエキス、加水分解シルク

医薬部外品は、保湿：加水分解コラーゲン液(4)、ユキノシタエキス、水解シルク液

※6 年齢に応じたうるおいとハリのお手入れ

※7 保湿：グリセリン、BG、ソルビトール、マルチトール / 基剤：(エイコサン二酸/テトラデカン二酸)ポリグリセリル-10

※8 保湿：濃グリセリン、BG、ソルビトール液、マルチトール液 / 基剤：(エイコサン二酸/テトラデカン二酸)デカグリセリル液

※9 保湿：ポリクオタニウム-51、グリセリン、DPG / 基剤：コレステロール / 天然由来乳化剤：水添レシチン

※10 保湿：2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体液、濃グリセリン、DPG / 基剤：コレステロール
天然由来乳化剤：水添大豆リン脂質

5. 発売日/地域

2022年2月19日

全国(ドラッグストア、総合スーパー(GMS)、化粧品専門店)

【参考】

SPARC が、肌の真皮と基底膜に存在するコラーゲンの産生を同時に高めることを世界で初めて^{※1} 発見
～基底膜にも働きかける、コラーゲンの司令塔 SPARC～

花王では長年、肌のハリにとって大切なコラーゲンに着目し、^{スパーク}SPARC (Secreted protein acidic and rich in cysteine) という生体に存在するタンパク質とコラーゲンの関係性についての研究を進めています。今回は、SPARC が複数の種類のコラーゲン産生に同時に働きかける司令塔としての役割を果たすことを、世界で初めて^{※1} 明らかにしました (図1)。

肌のコラーゲン

肌のコラーゲンは 9 種類あり、合成と分解を繰り返して健やかに保たれることで、肌のハリにとって大切な役割をしています。

そのうち 1 型コラーゲンは真皮の約 7 割を占め、太い線維状の形態で、肌の土台を作っています。一方、4 型と 7 型コラーゲンは肌の真皮と表皮を隔てる基底膜の主要な構成成分です。4 型コラーゲンは基底膜を構成する生体分子の約 5 割を占め、シート状のような形態で基底膜の骨格を作っており、7 型コラーゲンは基底膜と真皮を繋ぎ止める機能を持っています。どちらのコラーゲンも、真皮から表皮への栄養供給の制御などを行ない、健やかな肌を保つ機能を持つ基底膜の形成に重要な役割を担っています。

SPARC とは

SPARC は、細胞の増殖や分化、移動などを促進させるといった、多彩な機能を持つタンパク質です。肌においては、表皮と真皮で作られ、傷が治癒する際に増加することが知られています。花王グループでは、肌のコラーゲンに対して SPARC が重要な役割を果たしていると考えて研究を進め、2012 年には、SPARC が 1 型コラーゲンの産生を促進することを見だし報告しました^{※2}。

SPARC による 4 型・7 型コラーゲン産生促進効果と基底膜の形成促進

今回は、SPARC の 4 型と 7 型コラーゲンへの働きに着目し、SPARC を、培養した真皮線維芽細胞と表皮細胞それぞれに添加したところ、いずれの細胞でも 4 型と 7 型コラーゲンの産生が高まることを確認しました^{※3}。

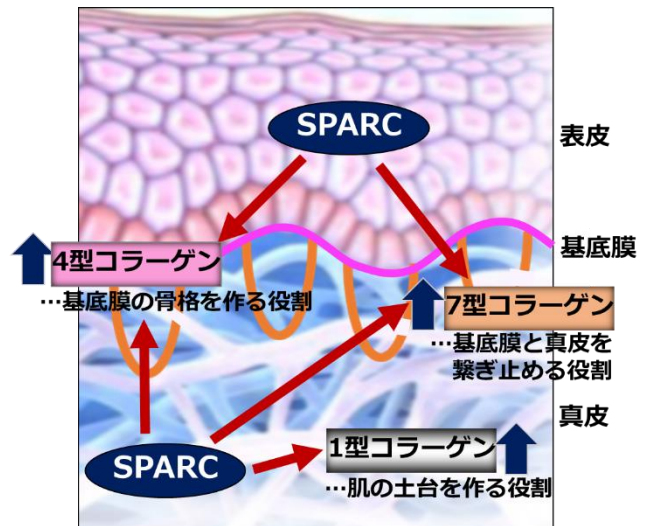


図1. SPARCによる複数のコラーゲン産生促進効果

さらに、3次元皮膚モデルに SPARC を添加したところ、4型と7型コラーゲンが基底膜に蓄積し、基底膜の形成を促進することもわかりました（図2）。

これらの知見から、SPARC は複数の種類のコラーゲン産生に同時に働きかける司令塔としての役割を果たすことが、世界で初めて明らかになりました。

老化した肌では基底膜の構造が劣化し、ハリやしわなどに影響を及ぼすことが報告されています。今回、SPARC と光老化との関係性を調べるため、同一人物の紫外線により老化が進んだ部位（光老化）と紫外線があまり当たっていない部位を比較したところ、前者の部位では SPARC が減少していることがわかりました※4。

このことから、光老化した肌では SPARC の産生が低下し、4型と7型コラーゲンを生み出す力が衰え、基底膜の構造的劣化に関与すると考えられます。

今後も SPARC とコラーゲンの関係性の解明を進めるとともに、この知見を化粧品開発に応用していく予定です。これらの研究結果は第53回日本結合組織学会で発表しました。

※1 生命科学、生物医学を検索できる世界で代表的な科学文献データベース PubMed を用いて検索。

「SPARC と1型・4型・7型コラーゲン産生」について該当なし（2021年7月14日現在、花王調べ）

※2 Kobayashi M, Yoshida H. et al., J Jpn Cosmet Sci Soc, 45, 191-200 (2021) .

※3 遺伝子発現解析とタンパク発現解析により評価

※4 抗 SPARC 抗体を用いた免疫組織染色により、SPARC を産生する細胞数を定量的に評価

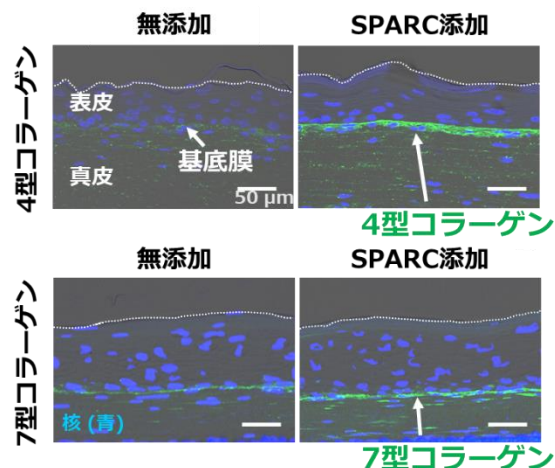


図2. SPARCによる4型・7型コラーゲン産生と基底膜形成の促進